

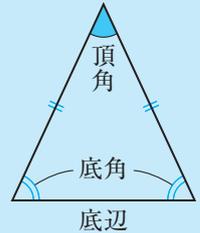
二等辺三角形

学習1 二等辺三角形の性質

▶二等辺三角形で、等しい辺のつくる角を頂角、頂角に対する辺を底辺、底辺の両端の角を底角という。

▶使うことばの意味をはっきり述べたものを定義といい、証明されたことがらのうち、基本になるものを定理という。定理は証明するときの根拠として用いてよい。
 定義 2つの辺が等しい三角形を二等辺三角形という。

定理 二等辺三角形の2つの底角は等しい。



例題1 右の図の△ABCで、AB=AC、点Dは∠Aの二等分線と辺BCとの交点である。このとき、∠B=∠Cであることを証明しなさい。

解き方 △ABD≡△ACDを証明し、∠B=∠Cであることを導く。

答 △ABDと△ACDで、

仮定より、 $AB=AC$ ……①

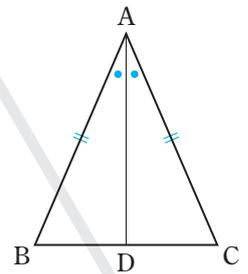
ADは∠Aの二等分線だから、 $\angle BAD=\angle CAD$ ……②

また、ADは共通だから、 $AD=AD$ ……③

①、②、③から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABD\equiv\triangle ACD$

合同な図形では、対応する角は等しいので、 $\angle B=\angle C$

参考 これは、「二等辺三角形の底角は等しい。」という定理の証明である。



確認問題1 次の問いに答えなさい。

□(1) 「二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。」という定理を、上の**例題1**の図を使って、次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。

【証明】 **例題1**の図で、 $\triangle ABD\equiv\triangle ACD$ より、合同な図形では、対応する辺や角は等しいので、

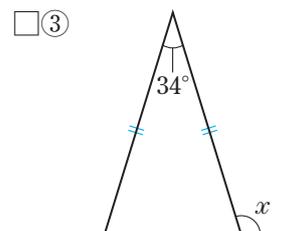
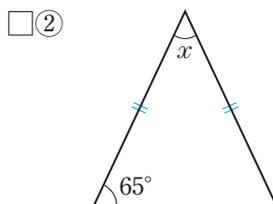
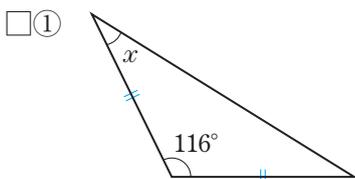
$BD=[\quad]$ ……① $\angle ADB=\angle [\quad]$ ……②

また、 $\angle ADB+\angle [\quad]=180^\circ$ ……③

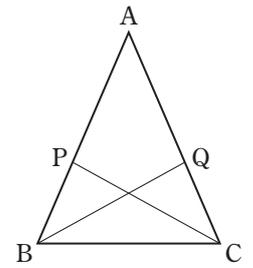
②、③から、 $\angle ADB=[\quad]^\circ$ つまり、 $AD\perp [\quad]$ ……④

①、④から、二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

(2) 次の図で、同じ印をつけた辺は等しいとして、∠xの大きさを、それぞれ求めなさい。



□(3) 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、点 P 、 Q はそれぞれ辺 AB 、 AC 上の点で、 $PB=QC$ である。このとき、 $\triangle PBC \equiv \triangle QCB$ であることを次のように証明した。[] をうめて証明を完成させなさい。



【証明】 $\triangle PBC$ と $\triangle QCB$ で、

仮定より、 $PB=[]$ ……①

また、 BC は共通だから、 $BC=CB$ ……②

$AB=AC$ より、二等辺三角形の[] は等しいので、

$\angle PBC = \angle []$ ……③

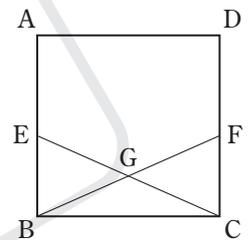
①、②、③から、[] が、それぞれ等しいので、 $\triangle PBC \equiv \triangle QCB$

学習2 2角が等しい三角形

▶定理 2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。



例題2 右の図の四角形 $ABCD$ は正方形で、点 E 、 F はそれぞれ辺 AB 、 DC 上にあり、点 G は線分 BF 、 CE の交点である。 $BE=CF$ のとき、 $\triangle GBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



解き方 上に示した定理を利用するために、2つの角が等しいことを導く。

そのために、まず、三角形の合同を証明する。

答 $\triangle EBC$ と $\triangle FCB$ で、

仮定より、 $EB=FC$ ……①

また、 BC は共通だから、 $BC=CB$ ……②

四角形 $ABCD$ は正方形だから、 $\angle EBC = \angle FCB = 90^\circ$ ……③

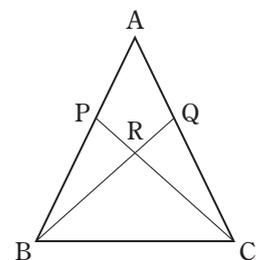
①、②、③から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle EBC \equiv \triangle FCB$

合同な図形では、対応する角は等しいので、 $\angle ECB = \angle FBC$ つまり、 $\angle GCB = \angle GBC$

2つの角が等しいので、 $\triangle GBC$ は二等辺三角形である。

確認問題2 右の図の $\triangle ABC$ は、 $AB=AC$ の二等辺三角形で、点 P 、 Q はそれぞれ辺

AB 、 AC 上にあり、点 R は線分 BQ 、 CP の交点である。 $BP=CQ$ のとき、 $\triangle RBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



学習3 逆

- ▶ 2つのことがらが、仮定と結論を入れかえた関係にあるとき、一方を他方の逆^{ぎやく}という。つまり、「 p ならば、 q 」の逆は、「 q ならば、 p 」である。あることがらが正しくても、その逆が正しいとは限らない。
- ▶ あることがらの仮定にあてはまるもののうち、結論が成り立たない場合の例を、反例^{はんれい}という。あることがらが正しくないことは、反例を1つでも示せば説明することができる。

例題3 次のことがらの逆を答え、それが正しいときは○を書きなさい。また、正しくない場合には×を書き、反例を示しなさい。

- (1) $\triangle ABC$ で、 $\angle A=90^\circ$ ならば、 $\angle B+\angle C=90^\circ$ である。 (2) $a>1$ ならば、 $a^2>1$ である。

解き方 (1) $\angle B+\angle C=90^\circ$ のとき、 $\angle A=180^\circ-(\angle B+\angle C)=180^\circ-90^\circ=90^\circ$ なので、逆は正しい。

答 $\triangle ABC$ で、 $\angle B+\angle C=90^\circ$ ならば、 $\angle A=90^\circ$ である。○

- (2) $a=-2$ のとき、 $a^2>1$ であるが、 $a>1$ ではない。これが逆が成り立たない例(反例)となる。

答 $a^2>1$ ならば、 $a>1$ である。× 反例…(例) $a=-2$

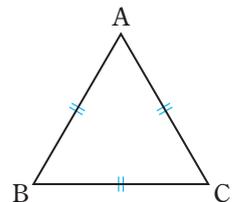
確認問題3 次のことがらの逆を答え、それが正しいときは○を書きなさい。また、正しくない場合には×を書き、反例を示しなさい。

- (1) $x\geq 1$ ならば、 $x>0$ である。

- (2) $\triangle ABC$ で、 $\angle B=\angle C$ ならば、 $AB=AC$ である。

学習4 正三角形

例題4 右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=BC=CA$ であるとして、「正三角形の3つの角は、すべて等しい。」という定理を証明しなさい。



解き方 正三角形は、二等辺三角形の性質をもっていることに注目する。

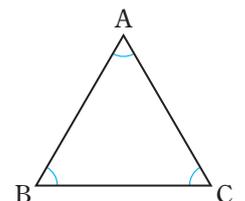
答 $CA=CB$ より、 $\angle A=\angle B$ ……①
 $AB=AC$ より、 $\angle B=\angle C$ ……②

二等辺三角形の2つの底角は等しい。

①、②から、 $\angle A=\angle B=\angle C$ となり、正三角形の3つの角は、すべて等しい。

参考 この証明より、正三角形の1つの角の大きさは、 $180^\circ \div 3=60^\circ$ であることもわかる。

確認問題4 右の図の $\triangle ABC$ で、 $\angle A=\angle B=\angle C$ であるとして、「3つの角がすべて等しい三角形は正三角形である。」という定理を次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



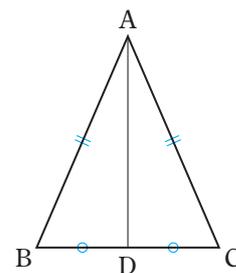
【証明】 $\angle B=\angle C$ より、 $\triangle ABC$ は $\angle B$ 、 \angle [] を底角とする二等辺三角形だから、 $AB=[]$ ……①

$\angle C=\angle$ [] より、 $\triangle ABC$ は $\angle C$ 、 \angle [] を底角とする二等辺三角形だから、[] $=BA$ ……②

①、②から、 $AB=[]=CA$ となり、 $\triangle ABC$ は正三角形である。

練習問題

1 【二等辺三角形の性質①】 右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=AC$ 、 $BD=CD$ ならば、 $\angle BAD = \angle CAD$ であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



◀ 例題1

【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で、

仮定より、 $AB = [\quad]$ ……① $[\quad] = CD$ ……②

また、 AD は共通だから、 $AD = AD$ ……③

①、②、③から、[]が、それぞれ等しいので、

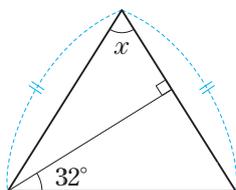
$$\triangle [\quad] \equiv \triangle ACD$$

合同な図形では、対応する[]は等しいので、 $\angle BAD = \angle CAD$

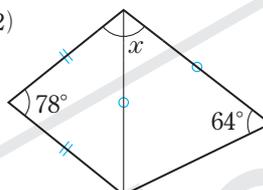
2 【二等辺三角形の性質②】 次の図で、同じ印をつけた線分の長さは等しいとして、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

◀ 例題1

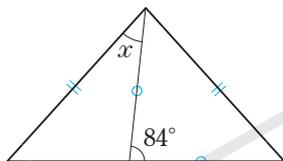
□(1)



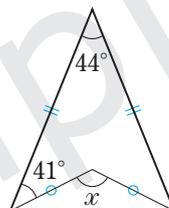
□(2)



□(3)



□(4)



3 【二等辺三角形の性質③】 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、点 D 、 E は辺 BC 上の点で、 $BD=CE$ である。このとき、 $AD=AE$ であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。

◀ 例題1

【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle [\quad]$ で、

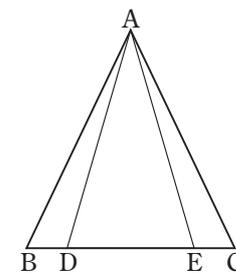
仮定より、 $AB = [\quad]$ ……① $[\quad] = CE$ ……②

①から、二等辺三角形の[]は等しいので、

$$\angle ABD = \angle [\quad] \text{ ……③}$$

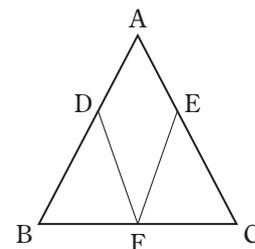
①、②、③から、[]が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABD \equiv \triangle [\quad]$

合同な図形では、対応する[]は等しいので、 $AD=AE$

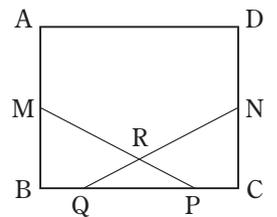


4 【二等辺三角形の性質④】 右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=AC$ 、点 D 、 E はそれぞれ辺 AB 、 AC 上の点で、 $DB=EC$ である。また、点 F は辺 BC の中点である。このとき、 $DF=EF$ であることを証明しなさい。

◀ 例題1

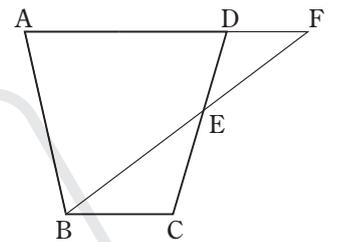


- 5 【2角が等しい三角形①】 右の図の四角形 ABCD は長方形で、点 M, N はそれぞれ辺 AB, DC の中点である。辺 BC 上に点 P, Q を線分 MP, NQ が交わるようにとり、その交点を R とする。BP=CQ のとき、 $\triangle RQP$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



例題2

- 6 【2角が等しい三角形②】 右の図の四角形 ABCD は $AD \parallel BC$ の台形で、点 E は辺 DC 上にあり、 $BC=CE$ である。直線 BE, AD の交点を F とするとき、次の問いに答えなさい。



例題2

- (1) $\triangle DEF$ は二等辺三角形であることを次のように証明した。[] をうめて証明を完成させなさい。

【証明】 対頂角は等しいので、 $\angle DEF = \angle [\quad]$ ……①

$CE=CB$ より、二等辺三角形の2つの底角は等しいので、 $\angle CEB = \angle [\quad]$ ……②

平行線の錯角は等しいので、 $BC \parallel AF$ から、 $\angle [\quad] = \angle DFE$ ……③

①, ②, ③から、 $\angle DEF = \angle [\quad]$

よって、[] が等しいので、 $\triangle DEF$ は二等辺三角形である。

- (2) 点 B を通り、辺 CD に平行な直線と辺 AD との交点を G とする。このとき、 $GB=GF$ であることを証明しなさい。

- 7 【逆】 次のことがらの逆を答え、それが正しいときは○を書きなさい。また、正しくない場合には×を書き、反例を示しなさい。

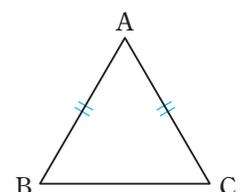
例題3

- (1) a も b も正の数ならば、 ab は正の数である。

- (2) 四角形 ABCD で、 $\angle A + \angle C = 180^\circ$ ならば、 $\angle B + \angle D = 180^\circ$ である。

- 8 【正三角形】 右の図の $\triangle ABC$ は、 $AB=AC$ の二等辺三角形である。このとき、「3つの角がすべて等しい三角形は正三角形である。」という定理を利用して、次の(1), (2)のそれぞれの場合に、 $\triangle ABC$ は正三角形であることを証明しなさい。

例題4

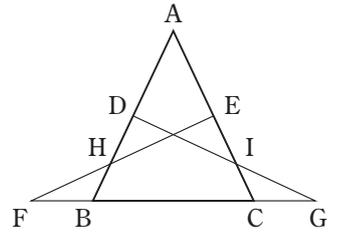


- (1) $\angle B = 60^\circ$

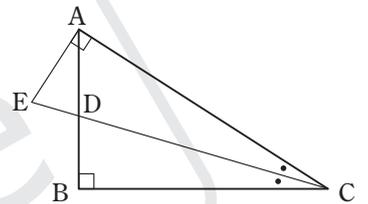
- (2) $\angle A = 60^\circ$

■ 応用問題 ■

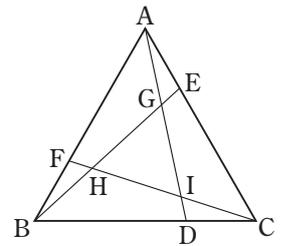
- 1 右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=AC$ 、点D、Eはそれぞれ辺AB、ACの中点である。
点F、B、C、Gは一直線上にあり、 $FB=GC$ で、点H、Iはそれぞれ辺ABと線分EF、辺ACと線分DGとの交点である。このとき、 $\angle BHF=\angle CIG$ であることを証明しなさい。



- 2 右の図の $\triangle ABC$ は $\angle B=90^\circ$ の直角三角形で、点Dは $\angle C$ の二等分線と辺ABとの交点、点Eは点Aを通り辺ACに垂直な直線と直線CDとの交点である。
 このとき、 $AD=AE$ であることを証明しなさい。



- 3 右の図の正三角形ABCで、点D、E、Fはそれぞれ辺BC、CA、AB上の点で、 $CD=AE=BF$ である。また、点G、H、IはそれぞれADとBE、BEとCF、CFとADの交点である。このとき、次の問いに答えなさい。
 (1) $\triangle ACD \cong \triangle BAE$ であることを証明しなさい。



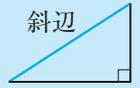
- (2) $\triangle GHI$ はどんな三角形ですか。

- 難 (3) 線分EC上に点Jをとる。 $JC=JH=EH$ のとき、 $\angle BHJ$ の大きさを求めなさい。

直角三角形の合同

学習1 直角三角形の合同条件

▶ 直角三角形で、直角に対する辺を斜辺しやへんという。



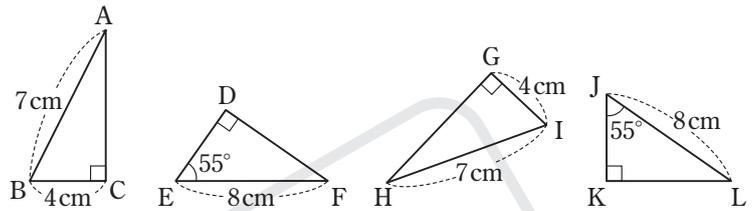
▶ 2つの直角三角形は、次のそれぞれの場合に合同である。

① 斜辺と1つの鋭角えいかくが、それぞれ等しい。 ①

② 斜辺と他の1辺が、それぞれ等しい。



例題1 右の図で、合同な三角形の組を、記号 \equiv を使って表しなさい。また、そのとき使った合同条件を書きなさい。



解き方 $\triangle ABC$ と $\triangle HIG$ で、 $\angle C = \angle G = 90^\circ$ 、 $AB = HI = 7\text{ cm}$ 、 $BC = IG = 4\text{ cm}$

直角三角形の斜辺と他の1辺が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABC \equiv \triangle HIG$

$\triangle DEF$ と $\triangle KJL$ で、 $\angle D = \angle K = 90^\circ$ 、 $EF = JL = 8\text{ cm}$ 、 $\angle E = \angle J = 55^\circ$

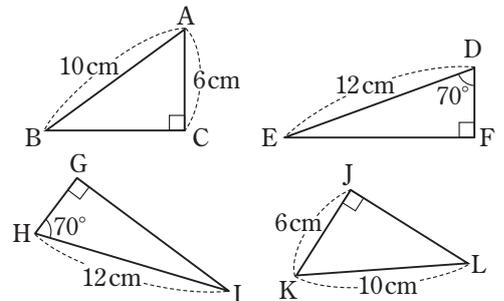
直角三角形の斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しいので、 $\triangle DEF \equiv \triangle KJL$

答 $\triangle ABC \equiv \triangle HIG$ 直角三角形の斜辺と他の1辺が、それぞれ等しい。

$\triangle DEF \equiv \triangle KJL$ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しい。

確認問題1 次の問いに答えなさい。

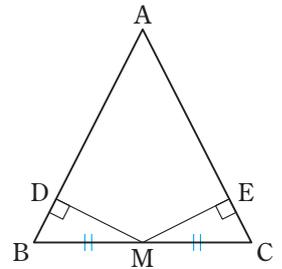
□(1) 右の図で、合同な三角形の組を、記号 \equiv を使って表しなさい。また、そのとき使った合同条件を書きなさい。



(2) 右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺 BC の中点を M とし、点 M から辺 AB 、 AC にそれぞれ垂線 MD 、 ME をひく。 $MD = ME$ のとき、次の問いに答えなさい。

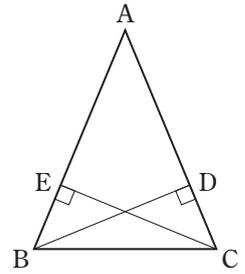
□① $\triangle BMD$ と合同な三角形を答えなさい。また、そのとき使った合同条件を答えなさい。

□② $\triangle ABC$ はどんな三角形ですか。



学習2 直角三角形の合同

例題2 右の図の $\triangle ABC$ は、 $AB=AC$ の二等辺三角形である。点 B, C から辺 AC, AB に垂線をひき、辺 AC, AB との交点をそれぞれ D, E とすると、 $BD=CE$ であることを証明しなさい。



解き方 BD, CE をふくむ直角三角形 DBC, ECB の合同を証明する。斜辺が等しいことを確認したうえで、どの合同条件が使えるかを考える。

答 $\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ で、

$$BD \perp AC, CE \perp AB \text{ だから, } \angle BDC = \angle CEB = 90^\circ \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$\text{また, } BC \text{ は共通だから, } BC = CB \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$AC = AB \text{ より, } \angle ACB = \angle ABC \text{ つまり, } \angle DCB = \angle ECB \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

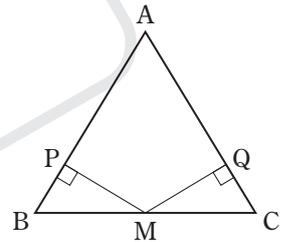
$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$ から、直角三角形の斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しいので、

$$\triangle DBC \equiv \triangle ECB$$

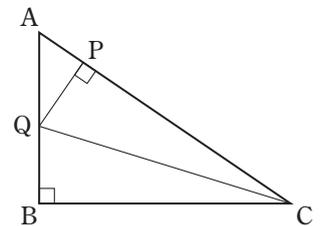
合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $BD=CE$

確認問題2 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図の $\triangle ABC$ は、 $AB=AC$ の二等辺三角形で、点 M は辺 BC の midpoint である。点 M から辺 AB, AC に垂線をひき、辺 AB, AC との交点をそれぞれ P, Q とすると、 $PB=QC$ であることを証明しなさい。



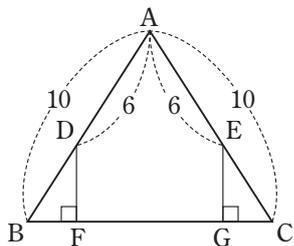
□(2) 右の図の $\triangle ABC$ は、 $\angle B=90^\circ$ の直角三角形である。辺 AC 上に点 P を、 $BC=PC$ となるようにとり、点 P を通り、辺 AC に垂直な直線と辺 AB との交点を Q とする。このとき、直線 CQ は $\angle ACB$ の二等分線であることを証明しなさい。



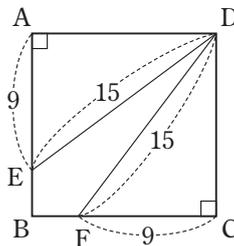
練習問題

1 [直角三角形の合同条件] 次の図で、合同な三角形の組を、記号 \equiv を使って表しなさい。また、そのとき使った合同条件を書きなさい。 ◀ 例題1

□(1)

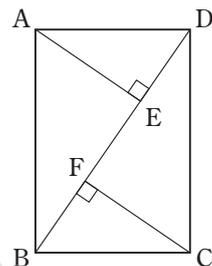


□(2)



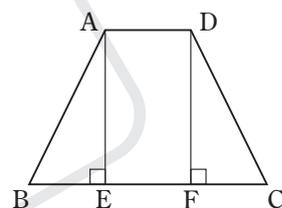
2 [直角三角形の合同①] 右の図の四角形 ABCD は長方形である。点 A, C から対角線 BD にそれぞれ垂線 AE, CF をひくと、 $\triangle ADE \equiv \triangle CBF$ となることを証明しなさい。

◀ 例題2



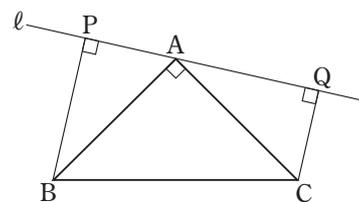
3 [直角三角形の合同②] 右の図の四角形 ABCD は、 $AD \parallel BC$, $AB = DC$ の台形である。点 A, D から辺 BC にそれぞれ垂線 AE, DF をひく。このとき、 $BE = CF$ であることを証明しなさい。

◀ 例題2



4 [直角三角形の合同③] 右の図のような、 $\angle A = 90^\circ$ の直角二等辺三角形 ABC の頂点 A を通る直線 l に、点 B, C からそれぞれ垂線 BP, CQ をひく。このとき、 $\triangle ABP \equiv \triangle CAQ$ であることを次のように証明した。[] をうめて証明を完成させなさい。

◀ 例題2



【証明】 $\triangle ABP$ と $\triangle CAQ$ で、

$l \perp BP$, $l \perp CQ$ だから、 $\angle APB = \angle [\quad] = 90^\circ$ ……①

$\triangle ABC$ は $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形だから、 $AB = [\quad]$ ……②

また、 $\angle BAP = 180^\circ - (\angle BAC + \angle [\quad]) = 90^\circ - \angle [\quad]$ ……③

$\triangle CAQ$ で、 $\angle ACQ = 180^\circ - (\angle [\quad] + \angle CAQ) = [\quad]^\circ - \angle CAQ$ ……④

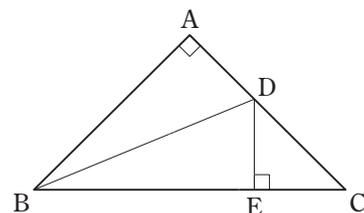
③, ④から、 $\angle BAP = \angle [\quad]$ ……⑤

①, ②, ⑤から、直角三角形の[]が、それぞれ等しいので、

$\triangle [\quad] \equiv \triangle CAQ$

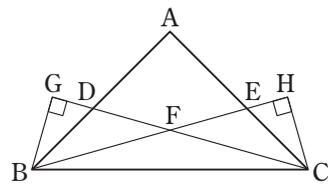
5 [直角三角形の合同④] 右の図の $\triangle ABC$ は、 $\angle A = 90^\circ$ の直角二等辺三角形である。 $\angle B$ の二等分線が辺 AC と交わる点を D とし、点 D から辺 BC に垂線 DE をひくとき、線分 AD と長さの等しい線分をすべて答えなさい。

◀ 例題2



■ 応用問題 ■

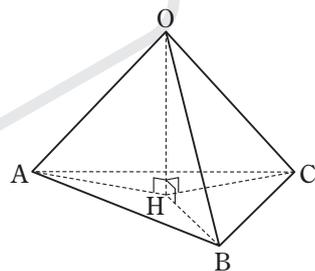
1 右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=AC$ 、点D、Eはそれぞれ辺AB、AC上の点で、 $BD=CE$ であり、点Fは線分BE、CDの交点である。また、点G、Hはそれぞれ直線CD、BE上の点で、 $BG \perp CG$ 、 $CH \perp BH$ である。このとき、次の問いに答えなさい。



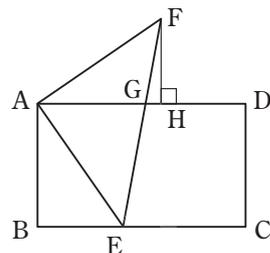
□(1) $FB=FC$ であることを証明しなさい。

□(2) $FG=FH$ であることを証明しなさい。

2 右の図の三角錐^{さんかくすい} OABCで、点Oから平面ABCに垂線OHをひくとき、
□ $OA=OB=OC$ ならば、 $AH=BH=CH$ であることを証明しなさい。



3 右の図で、四角形ABCDは長方形、 $\triangle AEF$ は $\angle A=90^\circ$ の直角二等辺三角形であり、点Gは辺ADとEFの交点である。点Fから辺ADに垂線FHをひくとき、次の問いに答えなさい。



□(1) $\triangle ABE \equiv \triangle AHF$ であることを証明しなさい。

難 □(2) $AB=6\text{ cm}$ 、 $BE=4\text{ cm}$ のとき、線分GHの長さを求めなさい。

平行四辺形の性質

学習1 平行四辺形の性質

▶定義 2組の向かいあう辺が、それぞれ平行な四角形を平行四辺形という。

上の平行四辺形の定義から、次の性質を導くことができる。

- ▶定理 ① 平行四辺形の2組の向かいあう辺は、それぞれ等しい。
 ② 平行四辺形の2組の向かいあう角は、それぞれ等しい。
 ③ 平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わる。

※ 記号□を使って、平行四辺形ABCDを、□ABCDと表すことがある。

例題1 「平行四辺形の2組の向かいあう辺は、それぞれ等しい」を証明しなさい。

解き方 □ABCDで、 $AB \parallel DC$ 、 $AD \parallel BC$ を仮定として、 $AB=DC$ 、 $AD=BC$ を導く。

答 □ABCDで、対角線BDをひく。

△ABDと△CDBで、

BDは共通だから、 $BD=DB$ ……①

平行線の錯角は等しいので、

$AB \parallel DC$ から、 $\angle ABD = \angle CDB$ ……②

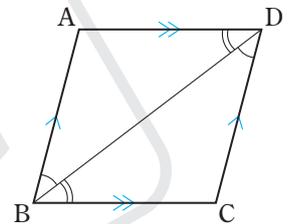
$AD \parallel BC$ から、 $\angle ADB = \angle CBD$ ……③

①、②、③から、1組の辺とその両端の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABD \equiv \triangle CDB$

合同な図形では、対応する辺は、それぞれ等しいので、 $AB=CD$ 、 $AD=CB$

したがって、平行四辺形の2組の向かいあう辺は、それぞれ等しい。

参考 △ABDと△CDBで、②、③から、残りの角も等しいので、 $\angle A = \angle C$ がいえる。同じような方法で、 $\angle B = \angle D$ もいえるので、「平行四辺形の2組の向かいあう角は、それぞれ等しい」がいえる。



確認問題1 次の問いに答えなさい。

□(1) 「平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わる」を、**例題1**の結果を利用して、次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。

【証明】 □ABCDの対角線の交点をOとする。

△OABと△[]で、

例題1の結果より、平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、

$AB=[]$ ……①

平行線の錯角は等しいので、[]//DCから、

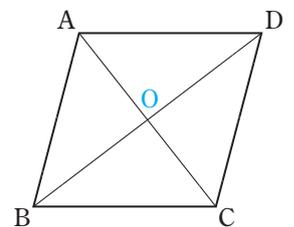
$\angle OAB = \angle []$ ……② $\angle OBA = \angle []$ ……③

①、②、③から、[]が、それぞれ等しいので、

$\triangle OAB \equiv \triangle []$

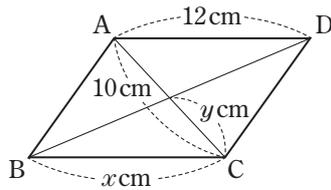
合同な図形では、対応する辺は、それぞれ等しいので、 $OA=[]$ 、[]=OD

したがって、平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わる。

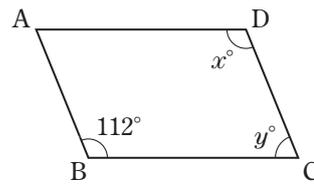


(2) 次の図の□ABCDで、 x , y の値を、それぞれ求めなさい。

□①

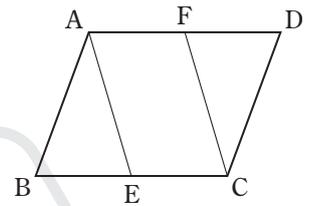


□②



学習2 平行四辺形の性質を利用した証明

例題2 右の図の□ABCDで、点E, Fはそれぞれ辺BC, AD上にあり、 $BE=DF$ である。このとき、 $\triangle ABE \cong \triangle CDF$ であることを証明しなさい。



解き方 平行四辺形の性質を利用して、等しい辺や角を見つける。

答 $\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ で、

仮定より、 $BE=DF$ ……①

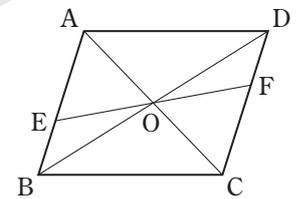
平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、 $AB=CD$ ……②

平行四辺形の向かいあう角は等しいので、 $\angle ABE = \angle CDF$ ……③

①, ②, ③から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABE \cong \triangle CDF$

確認問題2 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図の□ABCDで、対角線の交点Oを通る直線と辺AB, CDとの交点をそれぞれE, Fとする。このとき、 $\triangle OBE \cong \triangle ODF$ であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



【証明】 $\triangle OBE$ と $\triangle ODF$ で、

平行四辺形の対角線は、それぞれの[]で交わるので、

$OB=[]$ ……①

対頂角は等しいので、 $\angle BOE = \angle []$ ……②

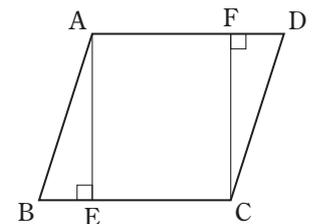
平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel []$ から、

$\angle OBE = \angle []$ ……③

①, ②, ③から、[]が、それぞれ等しいので、

$\triangle OBE \cong \triangle ODF$

□(2) 右の図の□ABCDで、点E, Fはそれぞれ辺BC, AD上にある。 $AE \perp BC$, $CF \perp AD$ のとき、 $\triangle ABE \cong \triangle CDF$ であることを証明しなさい。



練習問題

1 [平行四辺形の性質①] 「平行四辺形の2組の向かいあう角は、それぞれ等しい」を次のように証明した。[]
 □をうめて証明を完成させなさい。 ▶ 例題1

【証明】 □ABCD で、対角線 AC をひく。

平行線の[]は等しいので、

AB//DC から、 $\angle BAC = \angle [\quad]$ ……①

AD//[] から、 $\angle [\quad] = \angle BCA$ ……②

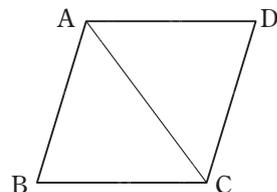
ここで、 $\angle BAD = \angle BAC + \angle [\quad]$,

$\angle BCD = \angle [\quad] + \angle DCA$ より、

①, ②から、 $\angle BAD = \angle [\quad]$ つまり、 $\angle A = \angle C$ ……③

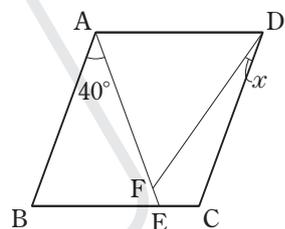
△ABC と △CDA で、①, ②から、三角形の残りの角も等しいので、 $\angle B = \angle [\quad]$ ……④

③, ④から、平行四辺形の2組の向かいあう角は、それぞれ等しい。

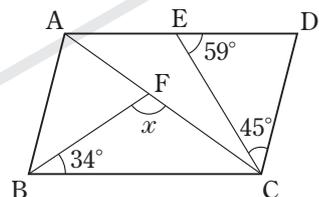


2 [平行四辺形の性質②] 次の問いに答えなさい。

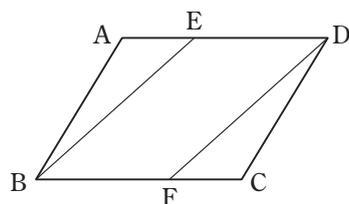
□(1) 右の図の□ABCD で、AB=AE, AF=AD のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。 ▶ 例題1



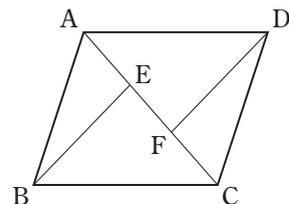
□(2) 右の図の□ABCD で、BA=BF のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



3 [平行四辺形の性質を利用した証明①] 右の図の□ABCD で、点E, Fはそれぞれ辺AD, BC上にある。 $\angle ABE = \angle CDF$ のとき、 $BE = DF$ であることを証明しなさい。 ▶ 例題2

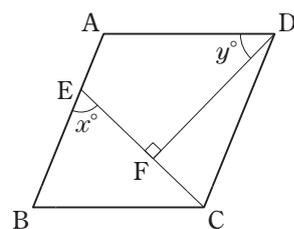


4 [平行四辺形の性質を利用した証明②] 右の図の□ABCD で、点E, Fは対角線AC上にあり、 $AE = CF$ である。このとき、 $\triangle BEC \equiv \triangle DFA$ であることを証明しなさい。 ▶ 例題2

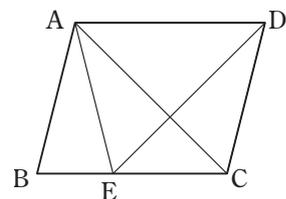


■ 応用問題 ■

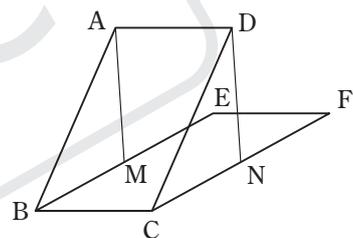
1 右の図の□ABCDで、 $CB=CE$ 、 $DF \perp EC$ である。 $\angle CEB = x^\circ$ 、 $\angle ADF = y^\circ$ と□するとき、 y を x の式で表しなさい。



難 2 右の図の□ABCDで、点Eは辺BC上の点で、 $AB=AE$ である。このとき、□ $\triangle AED \equiv \triangle DCA$ であることを証明しなさい。

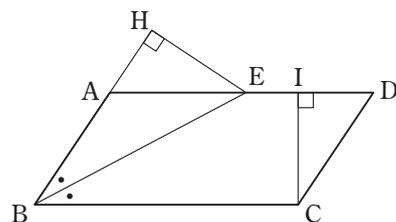


3 右の図の四角形ABCD、EBCFはともに平行四辺形であり、点M、Nはそれぞれ辺EB、FCの中点である。このとき、 $\triangle ABM \equiv \triangle DCN$ であることを証明しなさい。



4 $\angle B < 90^\circ$ である平行四辺形ABCDで、 $\angle B$ の二等分線と辺ADとの交点をEとし、点Eから直線BAに垂線EHをひく。また、点Cから辺ADに垂線CIをひく。このとき、次の問いに答えなさい。

□(1) $\triangle ABE$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



□(2) $\triangle AEH \equiv \triangle DCI$ であることを証明しなさい。

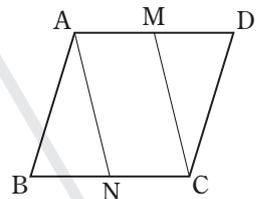
平行四辺形になるための条件

学習1 平行四辺形になることの証明

▶定理 四角形は、次のそれぞれの場合に、平行四辺形である。(平行四辺形になるための条件)

- ① 2組の向かいあう辺が、それぞれ平行であるとき……定義
- ② 2組の向かいあう辺が、それぞれ等しいとき
- ③ 2組の向かいあう角が、それぞれ等しいとき
- ④ 対角線が、それぞれの中点で交わる時
- ⑤ 1組の向かいあう辺が、等しくて平行であるとき

例題1 右の図の□ABCDで、点M、Nはそれぞれ辺AD、BCの中点である。このとき、四角形ANCMは平行四辺形であることを証明しなさい。



解き方 AM//NC, AM=NC を導き、上の⑤を用いる。

答 AD//BC から、 AM//NC ……①

M、Nはそれぞれ辺AD、BCの中点だから、 $AM = \frac{1}{2}AD$ ……② $NC = \frac{1}{2}BC$ ……③

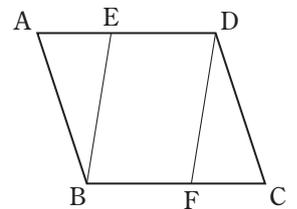
平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、 $AD=BC$ ……④

②、③、④から、 $AM=NC$ ……⑤

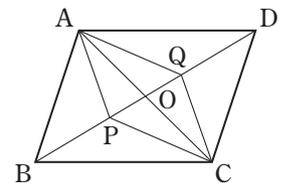
①、⑤から、1組の向かいあう辺が、等しくて平行であるので、四角形ANCMは平行四辺形である。

確認問題1 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図の□ABCDで、点E、Fはそれぞれ辺AD、BC上の点で、 $AE=CF$ である。このとき、四角形EBFDは平行四辺形であることを証明しなさい。



□(2) 右の図の□ABCDで、点Oは対角線の交点、点P、Qはそれぞれ線分OB、OD上の点である。 $BP=DQ$ のとき、四角形APCQは平行四辺形であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



【証明】 平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わるので、

$$OA = [\quad] \text{ ……①} \quad [\quad] = OD \text{ ……②}$$

仮定より、 $BP = [\quad]$ ……③

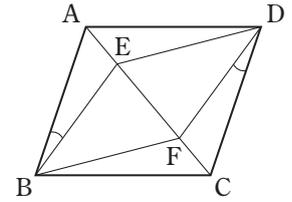
また、 $OP = OB - BP$ ……④ $OQ = [\quad] - [\quad]$ ……⑤

②、③、④、⑤から、 $[\quad] = OQ$ ……⑥

①、⑥から、[] ので、四角形APCQは平行四辺形である。

学習2 三角形の合同を利用する証明

例題2 右の図の□ABCDで、対角線AC上に、 $\angle ABE = \angle CDF$ となるように点E, Fをとるとき、四角形EBFDは平行四辺形であることを証明しなさい。



答 $\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ で、

平行四辺形の向かいあう辺は等しいので、 $AB = CD$ ……①

仮定より、 $\angle ABE = \angle CDF$ ……②

平行線の錯角は等しいので、 $AB \parallel DC$ から、 $\angle BAE = \angle DCF$ ……③

①, ②, ③から、1組の辺とその両端の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $BE = DF$ つまり、 $EB = DF$ ……④

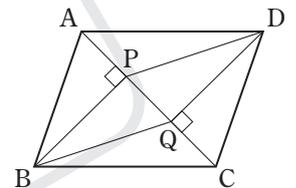
また、 $\angle BEF = \angle ABE + \angle BAE$, $\angle DFE = \angle CDF + \angle DCF$ ……⑤

よって、②, ③, ⑤から、 $\angle BEF = \angle DFE$ となり、錯角が等しいので、 $EB \parallel DF$ ……⑥

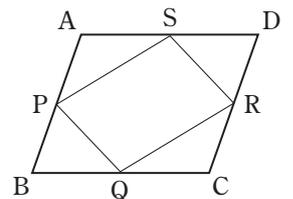
④, ⑥から、1組の向かいあう辺が、等しくて平行であるので、四角形EBFDは平行四辺形である。

確認問題2 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図の□ABCDで、対角線AC上に、 $BP \perp AC$, $DQ \perp AC$ となる点P, Qをとるとき、四角形PBQDは平行四辺形であることを証明しなさい。



□(2) 右の図の□ABCDで、点P, Q, R, Sは各辺の中点である。このとき、四角形PQRSは平行四辺形であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



【証明】 $\triangle APS$ と $\triangle CRQ$ で、

P, Rはそれぞれ辺AB, DCの中点だから、 $AP = \frac{1}{2}$ [] ……① $CR = \frac{1}{2}$ DC ……②

平行四辺形の[]は等しいので、 $AB =$ [] ……③

①, ②, ③から、 $AP =$ [] ……④ 同様にして、 $AS =$ [] ……⑤

平行四辺形の[]は等しいので、 $\angle PAS = \angle$ [] ……⑥

④, ⑤, ⑥から、[]が、それぞれ等しいので、 $\triangle APS \equiv \triangle CRQ$

合同な図形では、対応する[]は等しいので、[] = RQ ……⑦

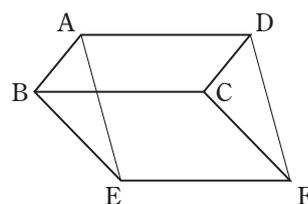
同様にして、 $\triangle BPQ \equiv \triangle DRS$ であることから、 $PQ =$ [] ……⑧

⑦, ⑧から、[] ので、四角形PQRSは平行四辺形である。

練習問題

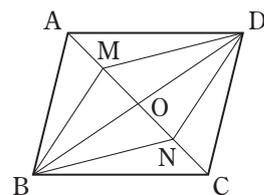
- 1 [平行四辺形になることの証明①] 右の図で、四角形 $ABCD$, $BEFC$ が平行四辺形であるとき、四角形 $AEFD$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

↩ 例題1



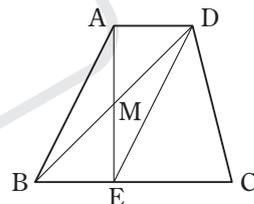
- 2 [平行四辺形になることの証明②] 右の図の $\square ABCD$ で、点 O は対角線の交点、点 M , N はそれぞれ線分 OA , OC の中点である。このとき、四角形 $MBND$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

↩ 例題1



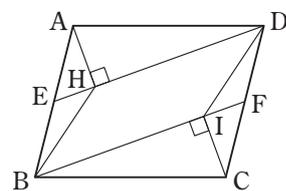
- 3 [三角形の合同を利用する証明①] 右の図は、 $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ で、点 M は対角線 BD の中点、点 E は直線 AM と辺 BC との交点である。このとき、四角形 $ABED$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

↩ 例題2



- 4 [三角形の合同を利用する証明②] 右の図で、四角形 $ABCD$, $EBFD$ は平行四辺形である。点 A , C から辺 ED , FB にそれぞれ垂線 AH , CI をひくとき、四角形 $HBID$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

↩ 例題2



■ 応用問題 ■

1 次のア～クのうち、四角形 ABCD がつねに平行四辺形になるものをすべて選び、記号で答えなさい。ただし、
□ O は対角線の交点とする。

ア $AB \parallel DC$, $AB = DC$

イ $AD \parallel BC$, $AB = DC$

ウ $\angle A = \angle C$, $\angle B = \angle D$

エ $\angle A = \angle B$, $\angle C = \angle D$

オ $OA = OB$, $OC = OD$

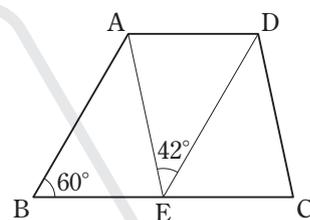
カ $OA = OC$, $AD \parallel BC$

キ $AC = BD$, $AC \perp BD$

ク $\angle A + \angle B = \angle B + \angle C = 180^\circ$

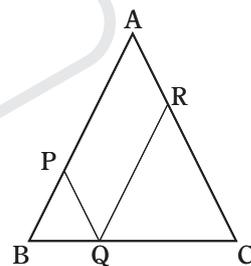
2 右の図の四角形 ABCD は、 $AD \parallel BC$ の台形で、点 E は辺 BC の中点である。

□ $AB \parallel DE$, $\angle B = 60^\circ$, $\angle AED = 42^\circ$ のとき、 $\angle DCE$ の大きさを求めなさい。



3 右の図の $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形で、点 P, Q, R はそれぞれ辺 AB, BC, AC 上にあり、 $AR = BP$, $AC \parallel PQ$ である。このとき、次の問いに答えなさい。

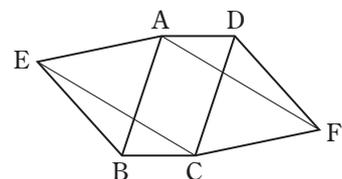
□(1) 四角形 APQR は平行四辺形であることを証明しなさい。



□(2) $PB = 4 \text{ cm}$, $RC = 8 \text{ cm}$ のとき、四角形 APQR の周りの長さを求めなさい。

難 4 右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形、 $\triangle ABE$, $\triangle CDF$ は正三角形であるとき、

□ 四角形 AECF は平行四辺形であることを証明しなさい。



いろいろな四角形, 平行線と面積, 図形の性質を利用した証明

学習1 長方形, ひし形, 正方形

▶定義 4つの角がすべて等しい四角形を, 長方形という。

定義 4つの辺がすべて等しい四角形を, ひし形という。

定義 4つの辺がすべて等しく, 4つの角がすべて等しい四角形を, 正方形という。

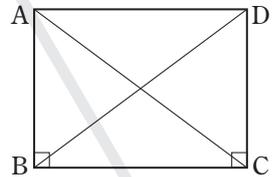
▶長方形, ひし形, 正方形は, どれも平行四辺形であり, 正方形は, 長方形とひし形の両方の性質をもつ。

▶四角形の対角線の性質

① 長方形の対角線は, 長さが等しい。 ② ひし形の対角線は, 垂直に交わる。

③ 正方形の対角線は, 長さが等しく, 垂直に交わる。

例題1 「長方形の対角線は, 長さが等しい」を, 右の図を使って証明しなさい。



解き方 長方形は平行四辺形の性質をもつことに着目する。

答 $\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ で,

BC は共通だから, $BC=CB$ ……①

向かいあう辺は等しいので, $AB=DC$ ……②

長方形の4つの角はすべて等しいので, $\angle ABC=\angle DCB$ ……③

①, ②, ③から, 2組の辺とその間の角が, それぞれ等しいので, $\triangle ABC \equiv \triangle DCB$

合同な図形では, 対応する辺は等しいので, $AC=DB$

したがって, 長方形の対角線は, 長さが等しい。

確認問題1 次の問いに答えなさい。

□(1) 「ひし形の対角線は, 垂直に交わる」を次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。

【証明】 ひし形 ABCD で, 対角線の交点を O とする。

$\triangle OAB$ と $\triangle OAD$ で, OA は共通だから, $OA=OA$ ……①

ひし形の4つの辺はすべて等しいので, []=AD ……②

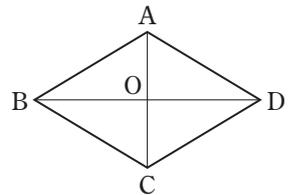
対角線は, それぞれの midpoint で交わるので, $OB=[]$ ……③

①, ②, ③から, []が, それぞれ等しいので, $\triangle OAB \equiv \triangle []$

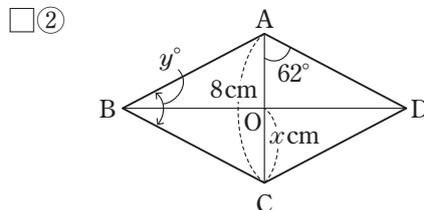
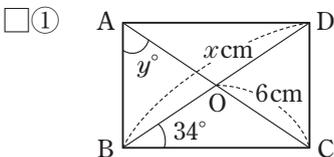
合同な図形では, 対応する[]は等しいので, $\angle AOB = \angle []$

点 B, O, D は一直線上にあるので, $\angle AOB = \angle [] = []^\circ$

したがって, ひし形の対角線は, 垂直に交わる。



(2) 次の①, ②の四角形 ABCD はそれぞれ, 長方形, ひし形である。x, y の値を, それぞれ求めなさい。



学習2 長方形, ひし形, 正方形になる条件

- ▶ 「となりあう角が等しい」か「対角線の長さが等しい」とき, 平行四辺形は**長方形**になる。
- ▶ 「となりあう辺が等しい」か「対角線が垂直に交わる」とき, 平行四辺形は**ひし形**になる。
- ▶ 長方形でもあり, ひし形でもある平行四辺形は**正方形**になる。

例題2 「となりあう角が等しい平行四辺形は長方形である」ことを証明しなさい。

解き方 平行四辺形の2組の向かいあう角はそれぞれ等しいことに着目する。

答 $\square ABCD$ で, $\angle A = \angle B$ ……① とする。

平行四辺形の2組の向かいあう角は, それぞれ等しいので,

$$\angle A = \angle C \quad \dots\dots ②$$

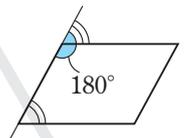
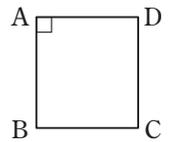
$$\angle B = \angle D \quad \dots\dots ③$$

①, ②, ③から, $\angle A = \angle B = \angle C = \angle D$

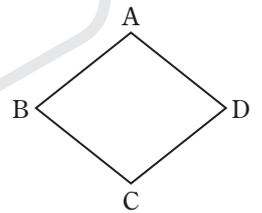
4つの角がすべて等しいので, $\square ABCD$ は長方形である。

したがって, となりあう角が等しい平行四辺形は長方形である。

参考 平行四辺形のとなりあう角の和は 180° なので, 「となりあう角が等しい」ことは, 1つの角が, $180^\circ \div 2 = 90^\circ$ であること, つまり, 「1つの角が直角である」ことと同じである。

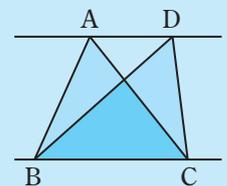


確認問題2 右の図の $\square ABCD$ で, $AB = AD$ であるとして, 「となりあう辺が等しい平行四辺形はひし形である」ことを証明しなさい。



学習3 平行線と面積

- ▶ $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の面積が等しいことを, $\triangle ABC = \triangle DEF$ のように表す。
- ▶ 1つの直線上の2点 B, C と, その直線の同じ側にある2点 A, D について,
 - ① $AD \parallel BC$ ならば, $\triangle ABC = \triangle DBC$
 - ② $\triangle ABC = \triangle DBC$ ならば, $AD \parallel BC$

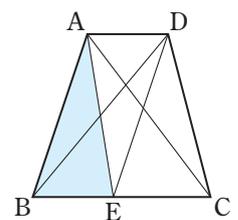


例題3 右の図で, $AD \parallel BC$, $AB \parallel DE$ であるとき, 図の中で, $\triangle ABE$ と面積の等しい三角形を, すべて見つけなさい。

解き方 $AD \parallel BC$ より, $\triangle ABE = \triangle DBE$

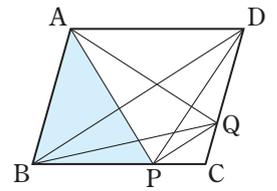
$AB \parallel DE$ より, $\triangle DBE = \triangle DAE$

$AD \parallel BC$ より, $\triangle DAE = \triangle DAB = \triangle DAC$



答 $\triangle DBE, \triangle DAE, \triangle DAB, \triangle DAC$

確認問題 3 右の図の□ABCDで、点P、Qがそれぞれ辺BC、CD上の点で、PQ//BDであるとき、図の中で、△ABPと面積の等しい三角形を、すべて見つけなさい。



学習4 図形の性質を利用した証明

例題 4 点Cを共有する2つの正三角形ABC、CDEがある。図1は、3点A、C、Eが一直線上にあり、点Dが直線ACより左側にある場合を示しており、図2は、図1の状態から、△CDEを点Eも直線ACより左側にくるように動かした場合を示している。ただし、2つの正三角形は、点C以外に重なる部分がないものとする。

図1

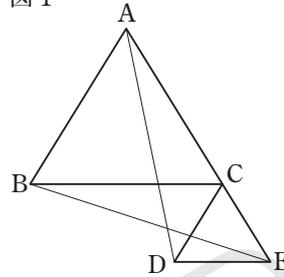
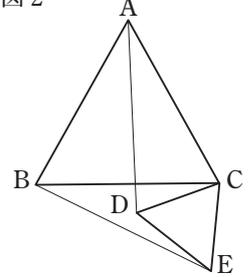


図2



このとき、図1、図2のどちらの場合でも、 $AD=BE$ が成り立つことを証明しなさい。

解き方 $\triangle ACD \cong \triangle BCE$ を証明し、 $AD=BE$ であることを導く。図1、図2のどちらの場合でも、 $\angle ACD$ や $\angle BCE$ が 60° (正三角形の内角) と $\angle BCD$ との和になっていることに着目する。

答 $\triangle ACD$ と $\triangle BCE$ で、

$\triangle ABC$ 、 $\triangle CDE$ は正三角形だから、

$$AC=BC \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \qquad CD=CE \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

また、 $\angle ACB = \angle DCE = 60^\circ$ だから、

$$\angle ACD = \angle ACB + \angle BCD = 60^\circ + \angle BCD \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

$$\angle BCE = \angle DCE + \angle BCD = 60^\circ + \angle BCD \quad \cdots \cdots \textcircled{4}$$

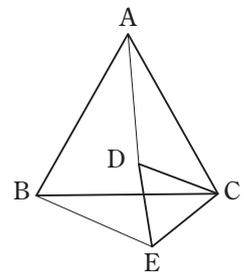
$$\textcircled{3}, \textcircled{4} \text{ から, } \qquad \angle ACD = \angle BCE \quad \cdots \cdots \textcircled{5}$$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{5}$ から、2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ACD \cong \triangle BCE$

合同な図形では、対応する辺は等しいので、 $AD=BE$

注意 図1と図2では図の状態は異なるが、**解き方** に着目すれば、上のように、同じやり方で証明できる。

確認問題 4 右の図は、**例題 4** の図2の状態から△CDEを、点Dが△ABCの内部にくるように動かして、2つの正三角形が重なる部分をもつようにしたものである。ただし、点D、Eはともに直線ACより左側にあるものとする。この図においても、 $AD=BE$ が成り立つことを証明しなさい。

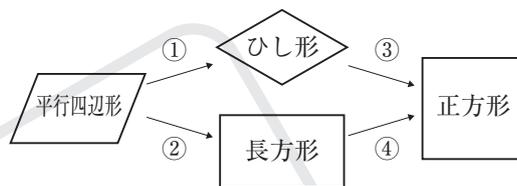


練習問題

1 [長方形, ひし形, 正方形] 平行四辺形, 長方形, ひし形, 正方形について, 次の表のそれぞれの性質がい
つも成り立つ場合は○を入れなさい。 ☞ 例題1

性質 四角形	2組の向かいあう辺		となりあう 辺が等しい	2組の 向かいあう 角が等しい	となりあう 角が等しい	対 角 線		
	平 行	等しい				それぞれの 中点で交わる	等しい	垂直に交わる
平行四辺形								
長 方 形								
ひ し 形								
正 方 形								

2 [長方形, ひし形, 正方形になる条件①] 平行四辺形に条
件を加えて特別な平行四辺形にする過程を示す右の図で, ①~
 ④にあてはまるものを, 次のア~エの中からそれぞれ2つ選び,
 記号で答えなさい。 ☞ 例題2

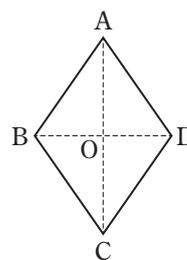


- ア となりあう角が等しい。 イ 対角線の長さが等しい。
 ウ となりあう辺が等しい。 エ 対角線が垂直に交わる。

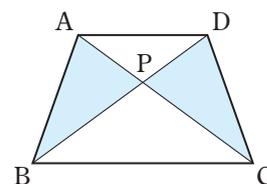
3 [長方形, ひし形, 正方形になる条件②] $\square ABCD$ に次の条件を加えると, それぞれどんな四角形になりま
 すか。ただし, O は対角線の交点とする。 ☞ 例題2

- (1) $\angle OCD = \angle ODC$ (2) $\angle ABD = \angle ADB$

4 [長方形, ひし形, 正方形になる条件③] 右の図の $\square ABCD$ で, $BD \perp AC$ であるとして,
 「対角線が垂直に交わる平行四辺形はひし形である」ことを証明しなさい。 ☞ 例題2



5 [平行線と面積①] 右の図で, $AD \parallel BC$ のとき, $\triangle ABP = \triangle DCP$ であることを次
 のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。 ☞ 例題3



【証明】 $AD \parallel BC$ より, $\triangle ABC = \triangle$ []①

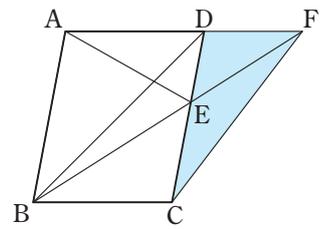
$\triangle ABP = \triangle ABC - \triangle$ []②

$\triangle DCP = \triangle$ [] $- \triangle PBC$ ③

①, ②, ③から, $\triangle ABP = \triangle DCP$

- ⑥ [平行線と面積②] 右の図の□ABCDで、点Eは辺CD上の点で、点Fは直線BEとADの交点である。このとき、図の中で、△CDFと面積の等しい三角形を、すべて見つけなさい。

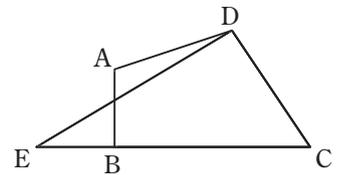
例題3



- ⑦ [平行線と面積③] 右の図の四角形ABCDの辺CBを延長した直線上に、四角形ABCDと△ECDの面積が等しくなるように点Eをとる方法を次のように説明した。[]をうめて説明を完成させなさい。

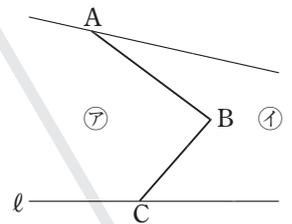
例題3

対角線BDをひく。点[]を通り、対角線BDに[]な直線ℓをひき、ℓと辺CBを延長した直線との交点をEとする。



- ⑧ [平行線と面積④] 右の図のように、折れ線ABCを境界とする2つの土地㊦、㊧がある。2つの土地の面積は変えずに、境界をAを通る線分APにあらためたい。点Pは直線ℓ上にあるものとして、線分APをかきなさい。

例題3



- ⑨ [図形の性質を利用した証明] 点Cを共有する2つの正方形ABCD, ECFGがある。ただし、点Eは直線BCより上側にあるものとする。図1は、2つの正方形が点C以外に重なる部分がない場合を示しており、図2は、点Eが正方形ABCDの内部にあり、辺CDと辺EGが交わるようにした場合を示している。これについて、次の問いに答えなさい。

例題4

図1

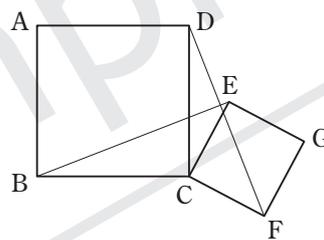
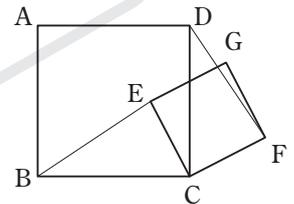


図2

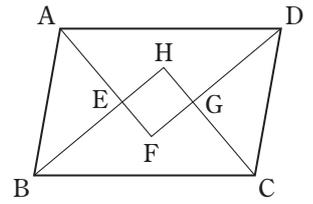


- (1) 図1の場合に、 $BE=DF$ が成り立つことを証明しなさい。

- (2) 図2の場合に、 $BE=DF$ が成り立つことを証明しなさい。

■ 応用問題 ■

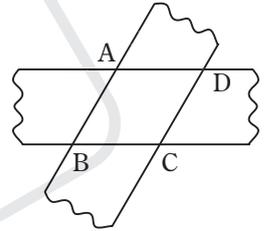
1 右の図で、点 E, F, G, H は $\square ABCD$ の 4 つの角それぞれの二等分線の交点である。このとき、次の問いに答えなさい。



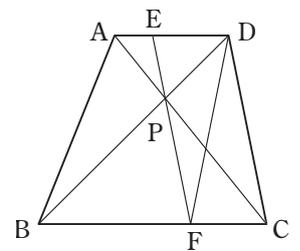
難 \square (1) 四角形 EFGH は長方形であることを証明しなさい。

\square (2) $\square ABCD$ が長方形のとき、四角形 EFGH はどんな四角形になりますか。

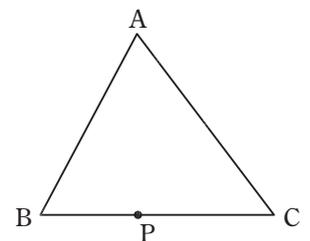
2 右の図の四角形 ABCD は、同じ幅の 2 本のテープを重ねてできたものである。四角形 ABCD はひし形であることを証明しなさい。



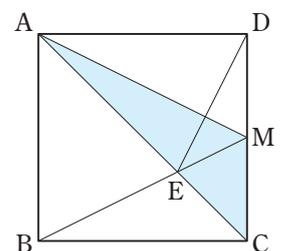
3 右の図の四角形 ABCD で、 $AD \parallel BC$, $EF \parallel DC$, 線分 AC, BD, EF は 1 点 P で交わっている。このとき、 $\triangle ABP = \triangle DEF$ であることを証明しなさい。



4 右の図の $\triangle ABC$ の辺 BC 上の点 P を通り、 $\triangle ABC$ の面積を 2 等分する直線 l を作図する手順を説明しなさい。



難 5 右の図で、四角形 ABCD は正方形、点 M は辺 CD の中点、点 E は対角線 AC と線分 BM との交点で、 $\triangle DEM$ の面積は 4cm^2 である。このとき、 $\triangle ACM$ の面積を求めなさい。



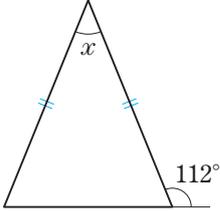
5 章のまとめ

1 二等辺三角形の性質①

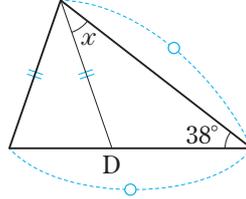
▶教科書 P.132~134

次の図で、同じ印をつけた線分の長さは等しいとして、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

□(1)



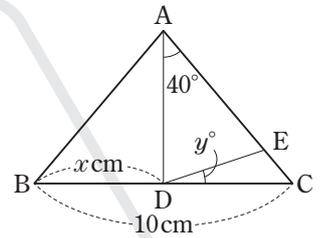
□(2)



2 二等辺三角形の性質②

▶教科書 P.134~135

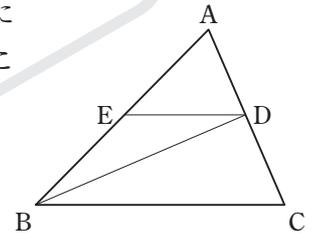
□ 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、点 D は $\angle A$ の二等分線と辺 BC との交点、点 E は辺 AC 上の点で、 $AD=AE$ である。 $BC=10\text{cm}$ 、 $\angle DAE=40^\circ$ のとき、 x 、 y の値を求めなさい。



3 2角が等しい三角形

▶教科書 P.135~136

□ 右の図で、 $\triangle ABC$ の $\angle B$ の二等分線と辺 AC との交点を D 、点 D を通り、辺 BC に平行な直線と辺 AB との交点を E とする。このとき、 $\triangle EBD$ が二等辺三角形であることを次のように証明した。[]をうめて証明を完成させなさい。



【証明】 BD は $\angle B$ の二等分線だから、 $\angle EBD = \angle$ [] ……①

平行線の [] は等しいので、 $BC \parallel ED$ から、
 $\angle CBD = \angle EDB$ ……②

①、②から、 $\angle EBD = \angle$ []
 [] が等しいので、 $\triangle EBD$ は二等辺三角形である。

4 逆

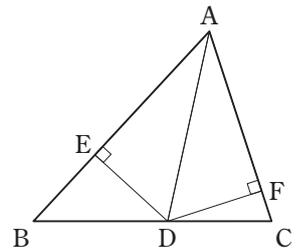
▶教科書 P.137~138

□ 「 a も b も負の数ならば、 $a+b$ は負の数である。」ということがらの逆を答え、それが正しいかどうかを答えなさい。

5 直角三角形の合同

▶教科書 P.140~143

□ 右の図で、点 D は $\triangle ABC$ の $\angle A$ の二等分線と辺 BC との交点、点 E 、 F はそれぞれ辺 AB 、 AC 上の点で、 $AB \perp DE$ 、 $AC \perp DF$ である。このとき、 $\triangle ADE \equiv \triangle ADF$ であることを証明しなさい。



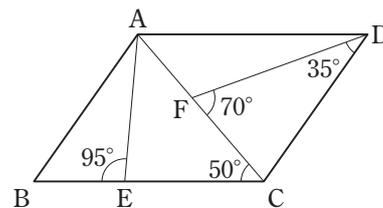
6 平行四辺形の性質①

▶教科書 P.145~147

右の図の□ABCDで、次の角の大きさを求めなさい。

□(1) $\angle ADF$

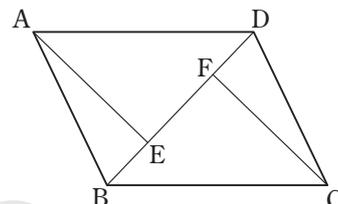
□(2) $\angle BAE$



7 平行四辺形の性質②

▶教科書 P.145~147

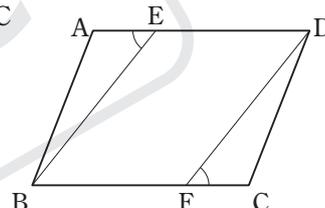
□ 右の図の□ABCDで、点E, Fは対角線BD上にあり、 $AE \parallel FC$ である。このとき、 $DE = BF$ であることを証明しなさい。



8 平行四辺形になるための条件

▶教科書 P.148~151

□ 右の図の□ABCDで、点E, Fはそれぞれ辺AD, BC上にあり、 $\angle AEB = \angle DFC$ である。このとき、四角形EBFDは平行四辺形であることを証明しなさい。



9 長方形, ひし形, 正方形

▶教科書 P.152~154

次のことがらについて、正しければ○, 正しくなければ×を書きなさい。

□(1) 正方形はひし形である。

□(2) 長方形は正方形である。

□(3) 対角線が垂直に交わる四角形はひし形である。

□(4) 対角線の長さが等しい平行四辺形は長方形である。

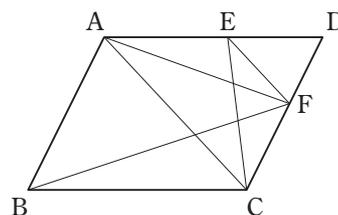
10 平行線と面積

▶教科書 P.155~156

右の図の□ABCDで、点E, Fはそれぞれ辺AD, CD上の点で、 $AC \parallel EF$ である。図の中で、次の三角形と面積の等しい三角形を、すべて見つけなさい。

□(1) $\triangle ABC$

□(2) $\triangle FBC$



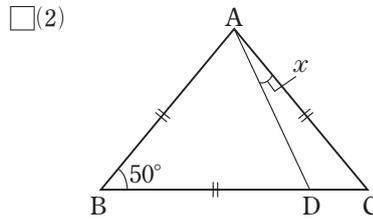
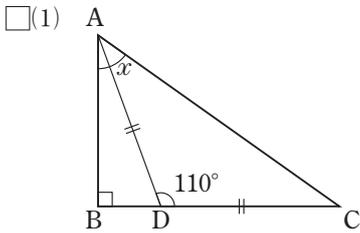
5章 図形の性質と証明

まとめテスト

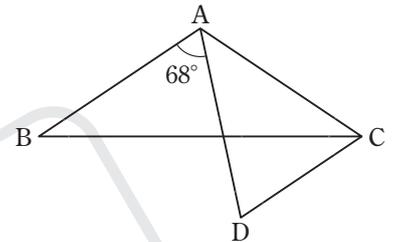
得点

/100点

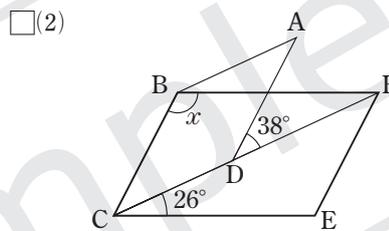
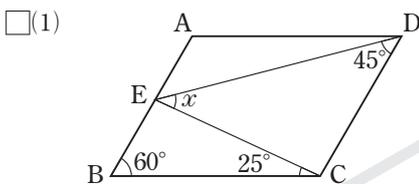
1 次の図で、同じ印をつけた線分の長さは等しいとして、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。 〈5点×2〉



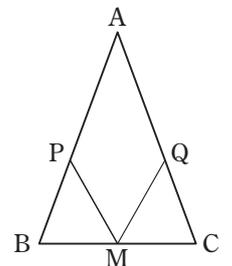
2 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、 $\triangle ADC$ は $AD=AC$ の二等辺三角形で、 $\angle ADC=2\angle ABC$ である。 $\angle BAD=68^\circ$ のとき、 $\angle ABC$ の大きさを求めなさい。 〈5点〉



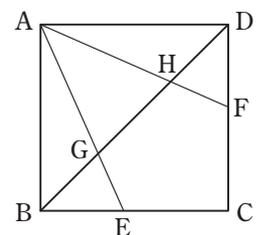
3 次の図で、四角形ABCD、BCEFは平行四辺形である。 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。 〈5点×2〉



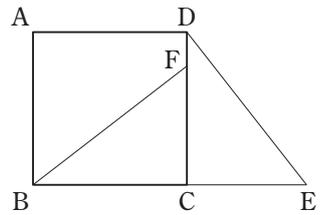
4 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、点P、Qはそれぞれ辺AB、AC上の点、点Mは辺BCの中点である。 $\angle BMP=\angle CMQ$ のとき、 $\triangle PBM \cong \triangle QCM$ であることを証明しなさい。 〈10点〉



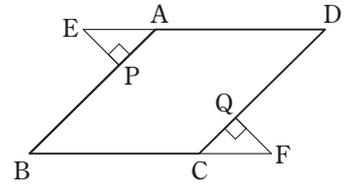
5 右の図で、四角形ABCDは正方形、点E、Fはそれぞれ辺BC、DC上の点、点G、Hはそれぞれ対角線BDと線分AE、AFとの交点である。 $BE=DF$ のとき、 $\triangle AGH$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。 〈10点〉



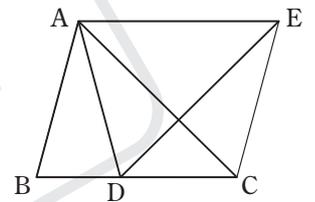
- 6 右の図で、四角形 ABCD は正方形、点 E は辺 BC の延長線上の点、点 F は辺 CD 上の点で、 $BF=DE$ である。 $BE=14\text{cm}$ 、 $DF=2\text{cm}$ のとき、正方形 ABCD の 1 辺の長さを求めなさい。 (5点)



- 7 右の図の $\square ABCD$ で、辺 DA、BC の延長線上にそれぞれ点 E、F を $AE=CF$ となるようにとり、点 E、F から辺 AB、CD にそれぞれ垂線 EP、FQ をひく。このとき、 $AP=CQ$ であることを証明しなさい。 (10点)



- 8 右の図で、 $\triangle ABC \cong \triangle DAE$ であり、点 D は辺 BC 上にある。このとき、四角形 ABCE は平行四辺形であることを証明しなさい。 (10点)



- 9 $\square ABCD$ に次の条件が加わるとき、四角形 ABCD は長方形、ひし形、正方形のうちのどれになりますか。ただし、O は対角線の交点とする。 (5点×4)

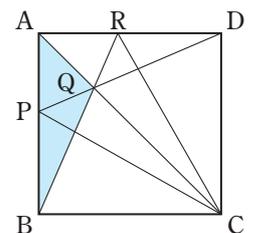
(1) $\angle ACB = \angle ACD$

(2) $OA = OB$

(3) $\angle A = \angle D$, $\angle BOC = 90^\circ$

(4) $\angle ACD + \angle BDC = 90^\circ$

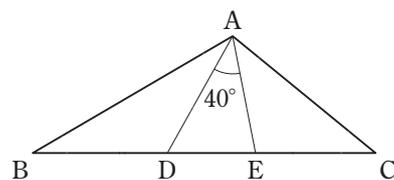
- 10 右の図の正方形 ABCD で、点 P は辺 AB 上の点、点 Q は対角線 AC と線分 PD の交点、点 R は直線 BQ と辺 AD との交点である。このとき、図の中で、 $\triangle ABQ$ と面積の等しい三角形を、すべて見つけなさい。 (10点)



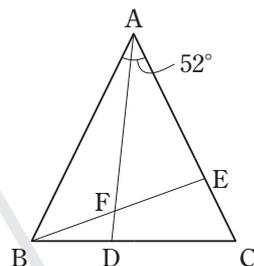
チャレンジ問題

1 次の問いに答えなさい。

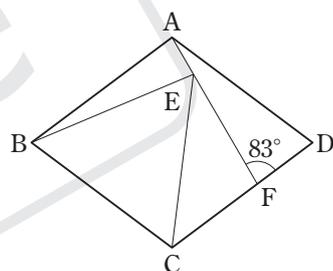
- (1) 右の図のような $\triangle ABC$ があり、点D、Eは辺BC上の点で、 $AD=BD$ 、 $AE=CE$ である。 $\angle DAE=40^\circ$ のとき、 $\angle BAC$ の大きさを求めなさい。



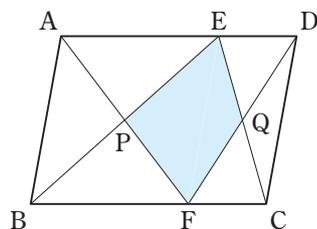
- (2) 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形、点D、Eはそれぞれ辺BC、AC上の点で、Fは線分ADとBEとの交点である。 $\angle BAC=52^\circ$ 、 $\angle ADC=\angle AEB$ のとき、 $\angle AFE$ の大きさを求めなさい。



- (3) 右の図で、四角形ABCDはひし形、 $\triangle EBC$ は正三角形で、点Fは線分AEの延長と辺CDとの交点である。 $\angle EFD=83^\circ$ のとき、 $\angle ADF$ の大きさを求めなさい。

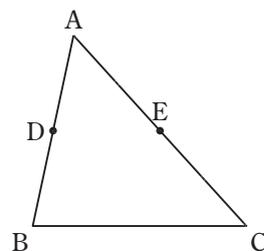


- 2 右の図の平行四辺形ABCDで、点Eは辺AD上の点、点Fは辺BC上の点で、 $AE:ED=BF:FC=2:1$ である。また、点Pは線分AFとBEとの交点、点Qは線分CEとDFとの交点である。 $\square ABCD$ の面積が 60cm^2 のとき、四角形EPFQの面積を求めなさい。



- 3 右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺AB、ACの中点をそれぞれD、Eとする。DEの延長線に、 $DE=EF$ となるように点Fをとって、四角形ADCFをつくるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 四角形ADCFはどんな四角形になりますか。

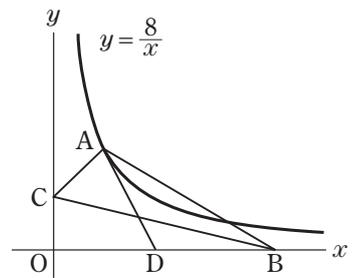


- (2) さらに、 $\triangle ABC$ に次のような条件を加えたとき、四角形ADCFはどんな四角形になりますか。

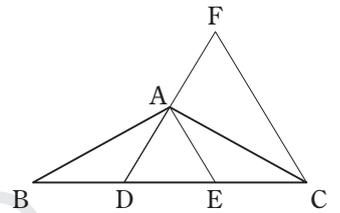
□① $\angle C=90^\circ$

□② $\angle A=\angle B$

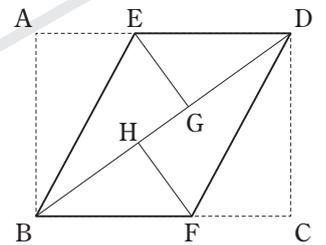
- 4 右の図で、点A, B, Cはそれぞれ曲線 $y = \frac{8}{x}$ 上, x 軸上, y 軸上, 点Dは
 □線分OB上にあり, 点A, Bの x 座標はそれぞれ2, 9, 点Cの y 座標は2である。 $\triangle ACB = \triangle ADB$ のとき, 点Dの座標を求めなさい。



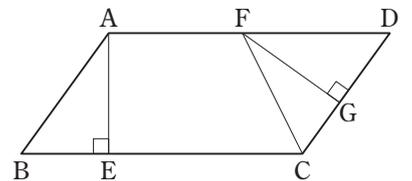
- 5 右の図で, $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形で, 辺BCを3等分する点を,
 □点Bに近い方から順にD, Eとする。また, 点Cを通り, 線分AEに平行な直線と線分DAの延長線との交点をFとする。このとき, $\triangle FDC$ が二等辺三角形であることを証明しなさい。



- 6 右の図は, 長方形の紙ABCDを, 辺AB, CDがそれぞれ対角線BDと重なるよ
 □うに折り返したところを示したものである。このときにできた辺AD, BC上の折り目の端をそれぞれE, Fとし, 点A, Cが対角線BDと重なった点をそれぞれG, Hとする。このとき, 四角形EBFDが平行四辺形であることを証明しなさい。



- 7 右の図で, 四角形ABCDは平行四辺形, 点Eは点Aから辺BCにひいた
 □垂線と辺BCとの交点である。また, 点Fは $\angle BCD$ の二等分線と辺ADとの交点, 点Gは点Fから辺CDにひいた垂線と辺CDとの交点である。このとき, $\triangle ABE \cong \triangle FDG$ であることを証明しなさい。

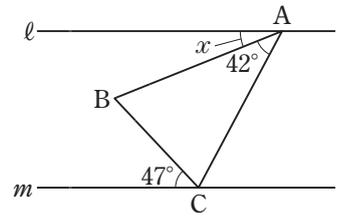


思考力 実践力 をのばす問題

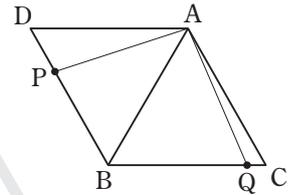
1 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC と、頂点 A, C をそれぞれ通る 2 本の平行な直線 l, m がある。このとき、 $\angle x$ の大きさは何度か。

〈鹿児島〉

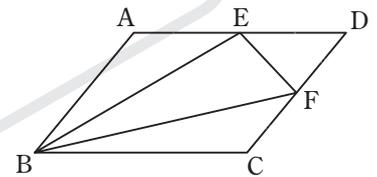


□(2) 右の図で、 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ は、ともに同じ平面上にある正三角形で、頂点 C と頂点 D は一致しない。点 P は、辺 BD 上にある点で、頂点 B, D のいずれにも一致しない。点 Q は、辺 BC 上にある点で、頂点 B, C のいずれにも一致しない。頂点 A と点 P 、頂点 A と点 Q をそれぞれ結ぶ。 $\angle PAQ=90^\circ$ 、 $\angle DAP=a^\circ$ とするとき、 $\angle AQB$ の大きさを表す式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。〈東京〉



ア $(75-a)$ 度 イ $(90-a)$ 度 ウ $(a+30)$ 度 エ $(a+60)$ 度

□(3) 右の図のような平行四辺形 $ABCD$ があり、辺 AD, CD の中点をそれぞれ E, F とします。このとき、 $\triangle EBF$ の面積は $\triangle DEF$ の面積の何倍になるか求めなさい。〈埼玉 24〉

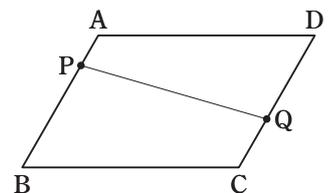


2 右の の中に示したことがらの逆を書きなさい。

□ また、 の中のことがらは正しいが、逆は正しくない。 の中のことがらの逆が正しくないことを示すための反例を、1つ書きなさい。〈静岡〉

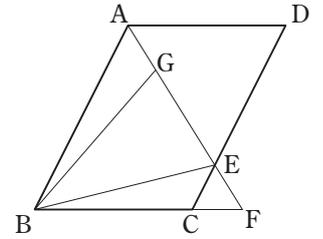
a も b も正の数ならば、 $a+b$ は正の数である。

3 右の図は、 $\angle A$ が鈍角の平行四辺形 $ABCD$ です。平行四辺形 $ABCD$ の辺 AB 上を点 P が動き、辺 DC 上を点 Q が動きます。点 P は点 A, B と重ならず、点 Q は点 C, D と重ならないこととします。次のア～エのうち、四角形 $PBCQ$ がいつでも平行四辺形になるのはどの条件をみたとときですか。一つ選び、その記号を書きなさい。〈岩手〉

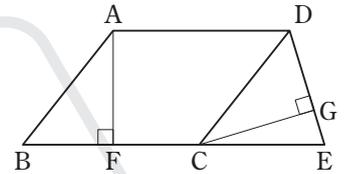


ア $PD \parallel BQ$ イ $AD \parallel PQ$ ウ $CP=BQ$ エ $AP=CQ$

- 4** 右の図で、四角形 ABCD は平行四辺形であり、 $\angle BAD$ の二等分線と辺 CD、辺 BC を延長した直線との交点をそれぞれ E、F とする。また、点 G は線分 AF 上の点で、 $\angle ABG = \angle CBE$ である。このとき、 $\triangle ABG \cong \triangle FBE$ であることを証明しなさい。〈岐阜〉



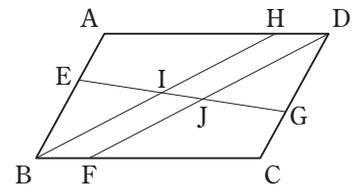
- 5** 右の図において、四角形 ABCD は内角 $\angle ABC$ が鋭角の平行四辺形である。 $\triangle EDC$ は $ED = EC$ の二等辺三角形であり、E は直線 BC 上にある。F は、A から辺 BC にひいた垂線と辺 BC との交点である。G は、C から辺 ED にひいた垂線と辺 ED との交点である。次の問いに答えなさい。〈大阪〉



- (1) $\triangle ABF \cong \triangle CDG$ であることを証明しなさい。

- (2) 四角形 ABCD の面積を $a\text{cm}^2$ 、四角形 AFED の面積を $b\text{cm}^2$ とするとき、 $\triangle CEG$ の面積を a, b を用いて表しなさい。

- 6** 右の図のように、平行四辺形 ABCD の辺 AB, BC, CD, DA 上に 4 点 E, F, G, H をそれぞれとり、線分 EG と BH, DF との交点をそれぞれ I, J とします。 $AE = BF = CG = DH$ のとき、 $\triangle BEI \cong \triangle DGJ$ であることを証明しなさい。



〈埼玉 23〉